

国際理解教育全体計画

【学校教育目標】

ひびきあう 上寺尾の子

- (学び合い) 自分の思いや考えを伝え合い、高め合い、よりよく問題を解決しようとする子を育てます。
- (自立) よりよい生活の実現を目指し、善悪を正しく判断して適切に行動しようとする子を育てます。
- (共生) 自分らしさを生かしながら、学校や地域のさまざまな人々と豊かにふれあい、共に生きようとする子を育てます。

【国際理解教育の目標】

- 豊かな国際性を養い、互いの存在を認め合い、望ましい人間関係を築こうとする子を育てます。
- 自他のよさに気づき、自分のよさを伸ばし、自分の思いを実現しようとする子を育てます。
- 自国や他国の文化や生活に関心をもち、互いのよさを認め合い、共に生きようとする子を育てます。

【低学年】

- 自分の考えや思いを周囲の相手に伝えようとする。
- 身近な人やものとのかかわりを通して、自他のよさに気づこうとする。
- 多くの友達や外国人に接し、誰とも仲良くしようとする。

【中学年】

- 自他の違いを知り、自分の考えを相手に分かるように伝えようとする。
- 自他の違いを理解し、互いのよさを認めようとする。
- 身近な人々や外国人とのふれあいを通して、自他の文化を理解しようとする。

【高学年】

- 自他の考えを正しく理解し合い、望ましい人間関係を築こうとする。
- 自他のよさを認め合うことで、互いのよさを伸ばし合おうとする。
- いろいろな国の文化や生活を理解しつつ自国の文化への関心を高めながら、世界とのかかわりを深めようとする。

各教科・領域における国際理解教育の方針・重点

【各教科】

- 自国や他国の文化を正しく理解するとともに、日本人としての自覚に立った豊かな国際性を育てる。

国語科，社会科，算数科，理科，生活科，音楽科，図工科，体育科，家庭科

【総合的な学習】

- 世界の国々に関心をもち、進んで理解を深めることを通して、視野の広い子を育てる。

国際理解教室
各教科・領域の発展的諸活動

【特別活動】

- 互いのよさを認め合い、望ましい人間関係を築く。

外国人講師を迎える集会
グッバイ集会
ユニセフ募金活動
国際平和スピーチコンテスト

【道徳教育】

- 互いのよさや違いを認め合い、思いやりの心や連帯の意識、協調の態度を育てる。

【国際理解教育】

- 豊かな国際性を養い、国際社会の一員としての資質を育てる。
それぞれの国には文化生活習慣の違いがあることに気づき、お互いに認め、尊重し合う人間関係を培う。
自国及び外国人児童の適応指導を促進する。